



野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備事業

## 屋久島森林環境シンポジウム(案)

「屋久島世界遺産の危機と保全」

～ヤクシカによる被害の現状と共存を考える～

### 1 趣旨・目的

ヤクシカの採食による被害は農林業被害にとどまらず、世界遺産地域等における屋久島の貴重な生態系や生物多様性に深刻な影響を与えている。採食の影響を緩和し屋久島の生態系や生物多様性を維持・回復していくためには植生保護柵の設置等に加え、捕獲による頭数調整が必須の状況となっている。

このような深刻な状況を打破するためには、島民をはじめとする、遺産地域等にかかわる多くの方々にこれらの状況を理解していただき、協力、協働して早急に対策を講じていく必要がある。

そのため、本シンポジウムでは、現在、ヤクシカが屋久島の世界遺産地域である屋久島の自然に与えている影響、植生の保護柵の設置やヤクシカの捕獲等の対策について議論し、多くの方々と情報の共有を図ることとする。

### 2 日時：平成23年2月～3月（調整中）

13:00～17:00(240分)

### 3 場所：屋久島町安房総合センター

鹿児島県屋久島町安房 187 番地-1

電話 0997-43-5900

### 4 主催：九州森林管理局

### 5 タイトル・テーマ：

「屋久島世界遺産の危機と保全」～ヤクシカによる被害の現状と共存を考える～

### 6 内容

吉良今朝芳鹿児島国際大学教授（共存の森事業検討委員会座長）、矢原徹一九州大学大学院理学研究院教授（屋久島世界遺産地域科学委員会ヤクシカワーキンググループ座長）のほか、ヤクシカに係る各方面の専門家等による講演及び講演者等をパネリストとしたパネルディスカッションを実施。